



本事業は、SDG s の「17 パートナシップで目標を達成しよう」に資する取組です。

2026 年 7 月 11 日（土）  
愛知県政策企画局国際課  
国際戦略グループ  
担当 織田、中井  
内線 2447、2399  
ダイヤルイン 052-954-6130

愛知県経済産業局産業部  
産業立地通商課国際業務企画グループ  
担当 植村、太田  
内線 3394、3393  
ダイヤルイン 052-954-6356

愛知県アジア・アジアパラ競技大会推進局  
運営支援課儀典室  
担当 矢嶋、福森  
内線 3995、3998  
ダイヤルイン 052-746-9408

## 知事の東南アジア渡航中の行事結果について

2026 年 7 月 10 日（金）午前、知事はベトナム社会主義共和国ハノイ市において、クオン文化・スポーツ・観光副大臣と面談しました。

午後には、チャー副首相及びトゥアン財政大臣と面談しました。

### 1 ホアン・ダオ・クオン文化・スポーツ・観光副大臣との面談

（担当：運営支援課儀典室）

#### （1）日時

2026 年 7 月 10 日（金）午前 10 時から午前 10 時 50 分まで  
（日本時間 7 月 10 日（金）正午から午後 0 時 50 分まで）

#### （2）場所

ベトナム 文化・スポーツ・観光省本部（ハノイ市）

#### （3）面談者

ホアン・ダオ・クオン 文化・スポーツ・観光副大臣

#### （4）愛知県側出席者

大村秀章知事

#### （5）内容

大村知事は、ベトナム 文化・スポーツ・観光省本部において、クオン文化・スポーツ・観光副大臣と面談しました。

まず大村知事は、「愛知県とベトナムは、同国の計画投資省（現在は財政省に統合）との『経済交流に関する覚書』及びホーチミン市との『友好交流及び相互協力に関する覚書』に基づき、様々な分野において交流を重ねている。また、毎年 11 月に、愛知

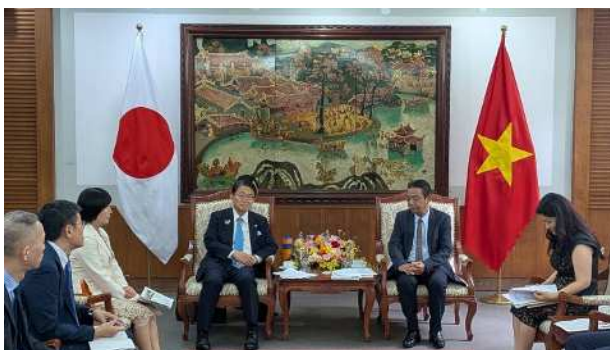
県で『ベトナムフェスティバルホーチミン in 愛知名古屋』が開催されており、大いに盛り上がっている。」と発言しました。

続けて大村知事は、「今年9月から10月にかけて、愛知県においてアジア・アジアパラ競技大会が開催され、アジア45の国と地域から、アジア大会には最大15,000人、アジアパラ大会には約4,000人の選手団が参加予定である。2023年の中国・杭州大会において、貴国はアジア競技大会で27個、アジアパラ競技大会で20個のメダルを獲得し、その中でも空手、射撃、セパタクロー、パラ水泳で金メダルを獲得している。また、貴国で人気の高いサッカーも出場予定であり、貴国選手の活躍を楽しみにしている。クオン副大臣始め文化・スポーツ・観光省の皆様にも、両大会にお越しいただきたい。」と述べました。

これに対し、クオン副大臣からは、「私はアジアパラ競技大会への参加を予定しており、大会に先立ち知事にお会いできたことを非常にうれしく思う。ベトナムからはアジア競技大会に約420名、アジアパラ競技大会に約30名の選手団が参加予定であり、杭州大会よりも多くのメダルを獲得することを目標としている。」との発言がありました。

さらにクオン副大臣からは、「愛知県で毎年11月に『ベトナムフェスティバルホーチミン in 愛知名古屋』が開催されていることは素晴らしい。ベトナムは日本各地でベトナム文化フェスティバルを開催しているので、今後愛知県でも開催してほしい。また、名古屋市がデザインの分野でユネスコ創造都市ネットワークに認定されているが、ベトナムでもハノイとホーチミンが同じくユネスコ創造都市ネットワークに認定されているため、今後の文化交流に向けて愛知県との間でMOUを締結できたらと考えている。」との発言もありました。

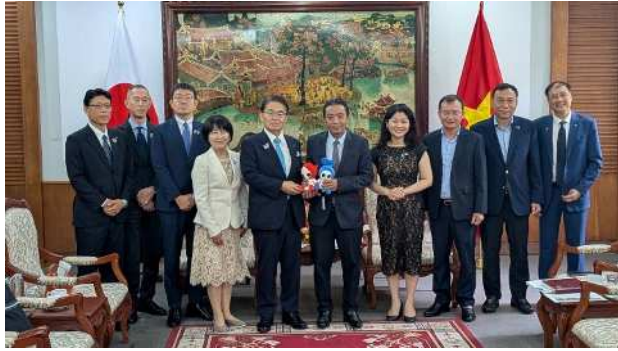
これに対して大村知事は、「私は、アジア・アジアパラ競技大会の組織委員会会長も務めているので、大会に関する要望があれば、愛知県又は組織委員会へ相談いただきたい。ベトナム文化フェスティバルについても、大使館の支援を受けて開催できればと思う。文化交流に関するMOUを締結し、交流を深めていければと思うので、貴省から具体的な提案をいただければありがたい。」と述べ、面会を締めくくりました。



クオン副大臣との面談の様子



クオン副大臣とアジア・アジアパラ競技大会公式マスコット「ホノホン・ウズミン」



面談出席者との記念撮影

## 2 ファム・ティ・タイン・チャー副首相との面談

(担当：国際課)

### (1) 日時

2026年7月10日（金）午後1時55分から午後2時35分まで

（日本時間7月10日（金）午後3時55分から午後4時35分まで）

### (2) 場所

ベトナム首相府（ハノイ市）

### (3) 面談者

ファム・ティ・タイン・チャー副首相

### (4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

いとうなおき  
伊藤直樹駐ベトナム日本国大使

### (5) 内容

大村知事は、ベトナム首相府を訪問しチャー副首相と面談しました。

初めに、チャー副首相は、「愛知県とホーチミン市との交流を高く評価する。大村知事が愛知県とベトナムとの交流のために御尽力されていることに感謝する。愛知県企業がベトナムで活躍されていることをうれしく思う。」と発言されました。

これに対して大村知事は、「愛知県は、トヨタ自動車を始めとする製造業の最大の集積地であり、ベトナムには愛知県から約210社の企業が進出し、活発にビジネスを行っている。また、中部国際空港との間では直行便が週17便就航する等、人の往来も盛んである。愛知県に住むベトナムの方は約71,000人にまで増え、日本で1番多くなっている。さらに愛知県では、毎年11月に『ベトナムフェスティバルホーチミン in 愛知名古屋』が広瀬ベトナムフェスティバル実行委員長（ホーチミン・愛知観光大使）を中心に開催されており、大いに盛り上がっている。」と愛知県とベトナムの交流について説明しました。

また、大村知事は、「愛知県は2008年3月に、現在は財政省となっている、当時の計画投資省と『経済交流に関する覚書』を締結し、ハノイにサポートデスクを設置している。また、2016年9月には愛知県とホーチミン市で『友好交流及び相互協力に関する覚書』を締結し、この10年間交流を深めている。昨日はホーチミン市を訪問して

きた。」と愛知県とベトナムの覚書に基づいた交流について、発言しました。

さらに、大村知事は、「今年の9月から10月にかけて、愛知県でアジア・アジアパラ競技大会が開催される。アジア45の国と地域から、約20,000人の選手団がお越しになる予定である。今日の午前中にクオン文化・スポーツ・観光副大臣と面談した際に、ベトナムの選手団は450人を超えると聞いた。2023年の中国・杭州大会において、貴国は空手、射撃、セパタクロ、パラ水泳で金メダルをとっており、アジア競技大会では全部で27個のメダル、アジアパラ競技大会では20個のメダルを獲得している。今回の大会でもベトナム選手が大いに活躍されることを期待している。また、ベトナムではサッカーが人気のスポーツであり、サッカーチームも参加されるとのことで、御活躍を期待する。」とアジア競技大会及びアジアパラ競技大会をPRするとともに、「これからも日本とベトナム、そして愛知とベトナムの関係が深まることを期待したい。」と発言しました。

これに対してチャー副首相は、「日本とベトナム両国が良好な関係を築いている中で、地域間の交流は重要になっている。地域間の交流を一層進めるために、大村知事には引き続き御尽力いただきたい。地域間の交流を拡大していただきたい分野として、特にスポーツでの交流がある。私も、アジア・アジアパラ競技大会の成功に貢献したい。大会関連イベントを通じて、地域レベルでの相互理解を深めていきたい。」と述べるとともに、「愛知県企業はベトナムで成功し、愛されている。さらなる進出をお願い申し上げる。さらに、愛知県は教育にも力を入れており、科学技術、DX、イノベーション、高度人材の分野で、ベトナムの大学・研究所に御支援をお願いしたい。」と述べました。

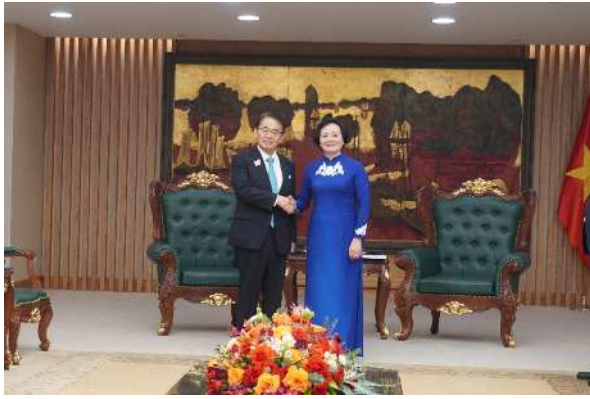
発言を受けて、大村知事は「特に人材育成、大学間の連携については我々も重要性を認識しており、同感である。愛知県を始め日本の企業は人材を必要としている。日本の企業とのマッチング等にも取り組んでいきたい。」と応じました。

次に、チャー副首相は「愛知県には、ホーチミン市に加え、北部のハノイ市またはフート省との地域間交流を是非検討いただきたい。大村知事のこれまでの御尽力に感謝しており、今回の訪問が実りあるものになることを祈っている。」と伝えました。

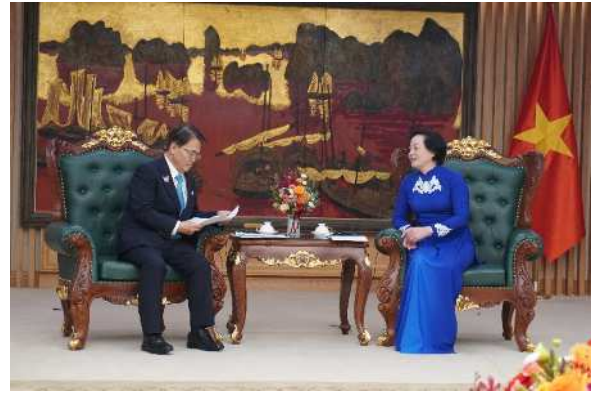
これに対して、大村知事は、「愛知県では2年前に日本最大のスタートアップ支援拠点 STATION Ai をオープンし、スタートアップ、イノベーションに取り組んでいる。是非、ハノイ工科大学やホーチミン市工科大学とも連携させていただき、新たにスタートアップ・イノベーションの分野でも協力できたらと思う。」と応えました。

そして最後に「アジア・アジアパラ競技大会でのベトナムの選手の素晴らしいパフォーマンスを大いに期待している。」と再度、アジア競技大会及びアジアパラ競技大会についてPRをしました。

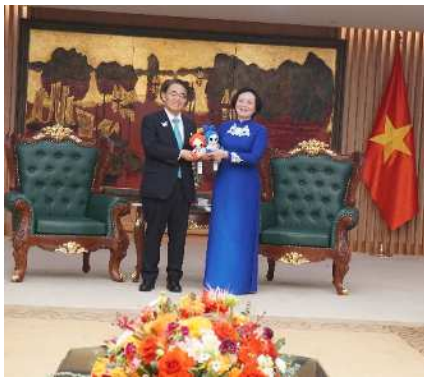
これに対して、チャー副首相は「私も参加したい。」と応じ、面談を終えました。



チャー副首相との冒頭あいさつ



チャー副首相との面談の様子



チャー副首相とアジア・アジアパラ競技大会公式マスコット「ホノホン・ウズミン」



面談出席者との記念写真

### 3 ゴー・ヴァン・トゥアン財政大臣との面談

(担当：産業立地通商課)

(1) 日時

2026年7月10日(金) 午後3時から午後3時50分まで  
(日本時間7月10日(金) 午後5時から午後5時50分まで)

(2) 場所

ベトナム財政省本部 (ハノイ市)

(3) 面談者

ゴー・ヴァン・トゥアン財政大臣

(4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

伊藤直樹駐ベトナム日本国大使

(5) 内容

大村知事は、ベトナム財政省本部を訪問し、トゥアン財政大臣と面談しました。

トゥアン財政大臣は、冒頭、「多くの愛知県企業がベトナムに進出し、ベトナム経済に貢献している。また、愛知県で毎年開催される国際産業展『AXIA EXPO』には、ベトナム企業が毎年出展している。今回の大村知事のベトナム渡航を機に、ベトナムとの協力関係が一層高まることを期待している。」と話されました。

これに対し、大村知事は、「愛知県は、自動車産業や航空宇宙産業、ロボット産業

など製造業の日本一の集積地である。そして、2008年に当時のベトナム計画投資省（現財政省）と『経済交流に関する覚書』を締結した。この覚書を経て、2009年3月に計画投資省の中にある外国投資庁にサポートデスクを設置し、県内企業の事業展開や投資を促進している。現在、ベトナムには、愛知県からトヨタ自動車を始め210社が投資し、活発にビジネスを行っている。また、日本の大手総合商社である住友商事、丸紅、双日がベトナムで運営する工業団地に、県内企業が進出する際に支援している。さらに、愛知県には、日本で最も多い71,000人のベトナム人が在住するとともに、中部国際空港とハノイ、ホーチミンとの間で直行便が週に17便就航するなど、人の往来も活発となっている。愛知県とホーチミン市は、2016年9月に私がホーチミン市を訪問して『友好交流及び相互協力に関する覚書』を締結し、10年間交流を重ねてきた。」と述べました。

また、「今年9月から10月にかけて、愛知県でアジア・アジアパラ競技大会が開催される。アジア45の国と地域から、両大会合わせて2万人の選手団を迎える予定であり、ベトナムからは450人を超える大選手団がこの大会に参加するとのことである。アジア大会は、アジア最大の平和とスポーツの祭典であり、ベトナム選手団が素晴らしい成績を残せるようサポートしていきたい。」と話しました。

さらに、「来年5月には、『第60回アジア開発銀行年次総会』（以下「ADB総会」という。）が愛知・名古屋で開催される。この総会は、アジア・太平洋地域の加盟国・地域の財務大臣・中央銀行総裁・金融関係者など、約5,000名が一堂に会する大きな国際会議であり、世界的にも注目度が高い。ADB総会でトゥアン財政大臣はじめ財政省やベトナムの皆様にお会いできることを楽しみにしている。」と述べるとともに、「毎年6月に国際産業展『AXIA EXPO』を開催し、アジアパビリオンを設置している。今年のアジアパビリオンには、ベトナム企業ではFPT ジャパンをはじめ8社に出展していただいた。来年度の内容が固まり次第、駐日ベトナム大使館に御案内するので、是非出展をお願いしたい。今後も愛知とベトナムの関係を一層深め、日本とベトナムの関係強化に努めていきたい。皆様には引き続き御支援をお願いしたい。」と述べました。

これに対して、トゥアン財政大臣は、「愛知県は、日本の製造業が集積する地域であるので、是非その力をお借りして、愛知県企業を始め日本企業のベトナム進出に協力していただきたい。ベトナムに進出する日本企業には、ベトナム企業もサプライチェーンに参加できるよう御支援をお願いしたい。我々としても、愛知県サポートデスクにしっかり協力していくし、日本企業に何かトラブルがあれば、迅速に解決できるよう全力で支援していく。」と述べました。

また、「今年のアジア・アジアパラ競技大会は絶対成功すると信じているが、ベトナム選手団の高い目標を達成するために、愛知県の御支援をお願いしたい。また、国際産業展『AXIA EXPO』も大きなチャンスだと考えており、出展することで、日本企業や世界企業に対するベトナム製品のPRや交流の場になるので、アジアパビリオンにも引き続き出展したい。」と話されました。

これに対して、大村知事は、「愛知県は、2024年に日本最大のスタートアップ支援拠点 STATION Ai をオープンした。スタートアップ700社、パートナー企業400社が入居して、毎日マッチアップし、イノベーションを創出している。STATION Ai は、アジ

ア最大の拠点となっており、ヨーロッパ最大のスタートアップ支援拠点である仏・パリの STATION F とアライアンスを組んで、スタートアップ支援を行っている。ベトナムには、ハノイ工科大学やホーチミン市工科大学など、エンジニア育成に優れた大学があり、それらの大学とも連携して、イノベーションを盛り上げていきたい。」と述べました。

これに対し、トゥアン財政大臣は、「STATION Ai との連携国にベトナムも加わるようお願いしたい。ベトナムは、イノベーションや DX を推進しており、ベトナム国家イノベーションセンターやハノイ工科大学或いはホーチミン市工科大学と今後相談して、STATION Ai との連携を進めることができれば素晴らしい。」と述べられました。

最後に、大村知事は、「アジア・アジアパラ競技大会や ADB 総会にお越しいただきたい。その際には STATION Ai も御案内する。愛知でお待ちしている。」と話したところ、トゥアン財政大臣は、「ADB 総会に出席できるよう調整していく。」と応じました。



トゥアン財政大臣との面談の様子①



トゥアン財政大臣との面談の様子②



トゥアン財政大臣とアジア・アジアパラ競技大会公式マスコット「ホノホン・ウズミン」



面談出席者との記念撮影